

平成27年7月10日

# 旧阿久根高校跡地活用検討に 関する調査特別委員会

阿久根市議会



- 1 会 議 名 旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査特別委員会
- 2 日 時 平成27年7月10日(金) 13時32分開会  
15時51分閉会
- 3 場 所 第2委員会室
- 4 出席委員 山田勝委員長、濱崎國治副委員長、白石純一委員、  
渡辺久治委員、西田数市委員、仮屋園一徳委員、  
竹原恵美委員、牟田学委員  
(木下孝行議長)
- 5 事務局職員 議事係長 東 岳也、議事係 大漣 昭裕
- 6 説明員 ・企画調整課  
課 長 山元 正彦 君 課長補佐 池田 英人 君
- 7 会議に付した事件
  - ・旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査
  - ・現地調査(旧阿久根高校)
- 8 議事の経過概要 別紙のとおり

## 審査の経過概要

### 山田勝委員長

ただいまから旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査特別委員会を開会いたします。  
本特別委員会に付託されました案件は、旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査についてあります。  
本日は、先の委員会で協議したとおり、旧阿久根高校の跡地活用についてこれまでの状況について所管課である企画調整課長から説明を求めたいと思います。  
企画調整課の出席をお願いします。

（企画調整課入室）

### 山田勝委員長

それでは、企画調整課長から、旧阿久根高校の跡地活用について、これまでの状況について説明を求めます。

### 山元企画調整課長

旧阿久根高校跡地利用についての、これまでの経緯についてご説明いたします。  
鹿児島県立阿久根高等学校につきましては、阿久根、阿久根農業、長島の3高等学校の統廃合再編により、平成17年4月に県立鶴翔高等学校が開校され、これに伴い平成19年3月末日をもって閉校となったところであります。  
同校跡地につきましては、平成18年度に、民間の方々を交えた阿久根高校跡地利用計画に係る会議を計3回開催したところであります。  
その中で、同校跡地を引き続き高い教育理念を掲げる学校施設として活用することで、教育環境の充実を図り、本市の振興・発展に資する、新たな学校法人による中高一貫校の誘致計画について審議されたところであります。  
しかしながら、運営する学校法人の設立や学校整備費用の目途が立たないまま、平成19年3月の閉校を迎え、現在、その計画が休止状態となっているところであります。  
この間、各方面から跡地活用に関し、太陽光発電事業に関連した利活用や福祉人材養成所と保育園、老人福祉施設等を併設した構想などいくつかの相談や提案が寄せられているところでございます。  
さらに、当市議会におきましても、介護福祉施設を都市部の自治体の負担で建設していただき、都市部の高齢者の方々の受け入れと合わせて、介護、医療、福祉に関係する人材育成の専門学校等を誘致し、学生寮や寄宿舎を併設し、外国人労働者を受け入れ、訓練、資格取得を支援することで、雇用機会の創出や人材確保につなげる構想や、スポーツ合宿などの誘致と合わせた宿泊研修施設としての活用策などについてのお尋ねがあったところであります。  
これを受け、市では、これまで財産を管理する鹿児島県教育委員会と、跡地の土地や建物を処分する場合の考え方などについての情報収集、活用策に関する意見交換等を行ってきておりますが、県の方針としましては、地域の活性化や施設の有効活用を図るため、地元の意向を最大限に尊重することを基本とする立場であります。  
市といたしましては、今後、市内各種団体の代表者や教育関係者、医療福祉関係者、識見を有する方など11名程で構成する阿久根高校跡地活用検討会議を設置し、本年度、4回程度の会議を開催する中で、旧阿久根高校跡地の活用方策について、協議・検討を行っていただくこととしているところでございます。

### 山田勝委員長

課長の説明は終わりました。委員から何か質疑等はございませんか。

#### 仮屋園一徳委員

一つお聞きいたしますけど、毎年、ここ最近ですね、毎年検討委員会が行われているんですが、情報交換が行われているんですが、これはどちらがアクションをつくっての情報交換なんですか。

#### 山元企画調整課長

これにつきましては、具体的な相談案件等があった場合に、こちらのほうから県の教育委員会の担当部署に連絡をとって、協議、あるいは意見交換等を行わせていただいているところでございます。

#### 仮屋園一徳委員

そしたら、県のほうからはなんもこれについては一応市に任せるよということで、県のほうからどうしたいということについては、ここ最近は全くないということで理解していいわけですね。

#### 山元企画調整課長

県としては、市の考えを尊重するというところでございますので、向こうのほうからこちらにこのことについて市に対してということは今のところございません。

[仮屋園一徳委員「了解」と発言あり]

#### 白石純一委員

この阿久根高校跡地の校舎を再利用する場合と、再利用しない場合が考えられると思うんですが、そして再使用しない、再使用する場合でも、全てを使う場合と全て使わない場合があると思いますが、一部使用で使わない施設がある場合、あるいは現状の施設を全て使わない場合、県はその再使用しない施設について県が取り壊すというようなことは可能なんですか。

#### 山元企画調整課長

この関係につきましては、県の担当者レベルで、県の担当者との事務レベルの意見交換の中では、県としては、現在のところ土地建物一体的な活用というのを基本に考えているということでございます。解体につきましては、県としては解体、県が解体を行うということについては、現状渡しを基本ということで解体が必要な場合にはそれを活用する事業者のほうでやっていただくということが、今のところ県としては基本として考えているということでございます。

#### 山田勝委員長

よろしいでしょうか。

[白石純一委員「はい」と発言あり]

#### 牟田学委員

この相談事例の中でですね、メガソーラー関連事業とあるんですけど、これは事業主のほうからの相談であるのか。それと、もしその時に校舎をこう見てるんですけど、校舎も解体した形での土地利用の相談だったのか、そこ辺りはどうですか。

#### 山元企画調整課長

このご相談案件につきましては、民間の方からの敷地内でのメガソーラー発電事業の実施と合わせまして、そういう太陽光発電の工事に必要な技術者を養成する、そういう専門学校的なものを併設してやりたいというような話があったことでの案件でございました。

この件につきましては、県のほうにもそういう情報があるということでおつなぎして県のほうにもご相談に行かれたところでございます。その中で解体については先ほども申し上げましたように県としては事業者側でやっていただくということが基本だということだったので、その解体費用というのが負担が大きいということで現在のところは具体化するまでには進んでいないという状況でございます。

#### 山田勝委員長

いいですか。

[牟田学委員「いいです」と発言あり]

**渡辺久治委員**

基本的な質問で申し訳ないんですけども、これは所有権はもう土地、建物ともに県であるわけですね。

**山元企画調整課長**

はい、おっしゃるとおりでございます。

**渡辺久治委員**

何かもし事業を始めようとか、という場合には県からの借用ということになるんですかね。

**山元企画調整課長**

県から借り受けるか、もしくは移譲を受けて実施をするかという形になるかと思います。

**渡辺久治委員**

移譲を受けるというのは。

**山元企画調整課長**

譲り受けて、土地、建物をその事業を実施する公的機関あるいはそういう民間の方が譲り受けた上で事業を実施するか、もしくは借り受けて実施するという形になるかと思います。

**渡辺久治委員**

例えば購入するという、土地を購入するということがありますか。

**山元企画調整課長**

はい、そういう選択肢もあるのではないかと思います。

[渡辺久治委員「はい、わかりました」と発言あり]

**白石純一委員**

これは、以前、県立阿久根高校になる以前は、阿久根市立、あるいは町立の女子高等学校だったと思いますので、その元々の財産は市のだったと理解しておりますので、それを一旦県に譲渡して、その際おそらく有償ではないと想像されますので、それをまた市に譲渡、再譲渡される場合は無償が一般的なのかなと思うんですが、その辺は議論はございましたでしょうか。

**山元企画調整課長**

県の方針といたしましては、市町村が公用、あるいは公共的な要に供する場合は無償での譲渡という形が考えられるというような説明を受けたところでございます。

**白石純一委員**

ちょっとまた別のことなんですけれども、以前検討された時に、交通手段、アクセスの問題で大型バスが直接乗り入れられないということが一つの検討の際のネックということで話があったというふうに聞いたんですけども、そういったことはございましたでしょうか。

あるいは、私の取材では裏口のほうですね、であれば大型バスもアクセスできるのではないかと考えますが、その辺りはご検討されたことがございますでしょうか。

**山元企画調整課長**

申し訳ございません、その大型バスの進入についてはちょっと検討されたかどうかというのは、ちょっと私正確に把握をしていないところでございます。その大型トラックで阿久根高校に乗り入れようとした場合には正門側のほうからはなんとか入っていけるのではないかと、ただ、裏門、その北側の進入路のほうからは厳しいというようなことを事業者の方から伺ったという経緯はございます。

**山田勝委員長**

よろしいですか。

[白石純一委員「はい」と発言あり]

**西田数市委員**

今現在ですよ、この跡地を利用してる団体はあるんですか。

**山元企画調整課長**

現在、鶴翔高校の生徒さん方が部活動等で体育館、グラウンドこういったところを活用しているところです。

**西田数市委員**

今、体育館とグラウンドを今使用しているということですか。

**山元企画調整課長**

私どもが伺っている中では、体育館、グラウンドこういったところを部活動で活動されていると。あと、以前は体育館については一般の方々でも夜間等は解放されているということは何ってございます。

**西田数市委員**

ということは、電気も今来ているということですか。

**山元企画調整課長**

はい、そのように理解しています。

**白石純一委員**

今のを補足ですが、武道場も使われていると理解しておりますが、どうでしょうか。

**山元企画調整課長**

はい、ちょっと武道場については確認ができていないところでございます。

**山田勝委員長**

はい、暫時、休憩にいたします。

(休憩 13:47~13:49)

**山田勝委員長**

それでは、休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

**濱崎國治委員**

ここに、校舎と建物の一部関係の現況図がありますが、校舎について、あるいは体育館について建設年度等の把握は企画調整課のほうでしていらっしゃるんですか。

**山元企画調整課長**

県の財産を管理しております学校施設課のほうで一定程度確認をしているところでございます。内容といたしましては、この現況図の中央部分にございます、校長室がある事務室棟、こちらが昭和42年建築でございます。その下の普通教室棟、こちらがまず一部昭和39年です。そしてグラウンド側に向かって昭和40年、41年にそれぞれ増築がなされているところでございます。その下の特別教室棟が1階部分が昭和56年、2階・3階部分が昭和59年、それから体育館が昭和41年、武道館が昭和50年、現在確認をしているのは以上でございます。

**濱崎國治委員**

かなり古いのがあったり、あるいは50年代のところもあるようですけれども、耐震の関係がどうなっているから、解体に対して課題であると思うんですが、耐震関係は把握していらっしゃるんですか。

**山元企画調整課長**

耐震関係につきましては、確認をしているものがこの建物のうち普通教室棟こちらのほうが平成12年診断でIS値が0.6でございます。それから特別教室棟が平成15年診断でIS値が0.82でございます。それから事務室棟が同じく平成15年診断でIS値が0.96でございます。確認をしておりますのは以上でございます。

**濱崎國治委員**

耐震関係から使える使えない、あるいはその活用の方法によっては解体とかいろいろな問題が出てくると思うんですが、私は一般質問のほうで新幹線の建設にも関連して、大隅の

ほうではかなり県のほうが学校、スポーツ合宿等にですね、非常に力を入れてしてあって、それは新幹線が通らないということでの地域活性化の方策として向こうに設置されたということもありまして、阿久根にはやむなく建設を同意したといいますか、やむない判断をして新幹線が開通したということから県にやっぱり阿久根に対してもっと積極的に地域活性化に協力すべきじゃないかということでも含めて、校舎については県が解体してやっぱりしたほうが後の利用価値からすればいいんじゃないかということで質問したことがありますか、県として先ほどの話からすると、県としては事業者のほうで、つまり、市が何がしの施設を市が作るとしても市が撤去・解体する、しなければいけないというそういう考えなんですか。

#### 山元企画調整課長

県としては、市になるのか、事業者なるのかということまで話としては話してはいたんですけども、県としては現況で渡すのを基本に考えているということ、あとはその活用する者で解体してもらいたいということも基本に考えているということでもございました。

#### 濱崎國治委員

実はこの校舎を解体しようとするれば1億円以上、かなりの額が必要だということで、市にしても、あるいは引き受ける事業者にしても非常に初期投資が多くなってなかなかここに何かをという発想からですね、後退するのではないかなということもあって、やはり県がちゃんとするべきだということで、今するか、あるいは将来活用方法が決まった時に、県の責務とするんですよという、そういう覚書みたいな約束をする必要ができないかということでお話ししたことがあるんですが、それは県としては引き受けた、いわゆる譲渡を受けたところが解体は必須条件ということとして、それは今もそういう考えなんですか。

#### 山元企画調整課長

ここにつきましては、基本的な考え方ということで現在のところは、事務レベルの協議の中では、阿久根市としても具体的な活用策ということがまだお示しできてない状況にあるものですから、あくまで一般的な話ということで、県と話をする中では、先ほどお答えしたような考えが県のほうから示されているところで、ここにつきましては、市として具体的に県に要望をするというようなどころにはまだ今のところはそこまで至っていない状況でございます。

#### 濱崎國治委員

ということは、市、あるいは事業者の方が何かをしようとする時は、そういうお願いは、要望はできるということで理解していいんでしょうか。

#### 山田勝委員長

ちょっと、休憩に切り替えたいと思います

(休憩 13:57~14:01)

#### 山田勝委員長

それでは、休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

#### 濱崎國治委員

この活用の提案、相談事例にですね、既存校舎の倉庫としての活用というのがしてあるんですが、これはどういう意味なんですかね。

#### 山元企画調整課長

これにつきましては、民間の企業におきまして、自社の倉庫として今の旧校舎を活用できないかというご相談があったものでございます。

#### 濱崎國治委員

ということは、民間の貸倉庫的なこれは提案ということで理解していいのですか。

#### 山元企画調整課長

自社のいろいろなものを納めるための、自社で使うための倉庫としての活用ということでお話があったところでございます。

**山田勝委員長**

ほかに、ありませんか。

**竹原恵美委員**

先ほど、耐久、耐震の話、出ましたけれども、年数は聞きましたけれど、耐久年数、耐久年数として残りいくらってありますよね、だからグランビューだともう60年終わったので、もう期間としては、耐久年数としては終わってる。そういう数が出るんですが、建物の判断の年数が決まっていて、その適合する年数であと何年っていうのはわかるんですけど、ここに関してはバラバラバラつくられているんですが、リストはできますか。

市の財産の固定資産リストをあげてもらおうと、耐久年数は何年だからいつつくったから残りいくらというのが出てくるんですけど、ここに関してはリストは出せますか。

**山元企画調整課長**

ここについては、まだちょっと県のほうから資料を受けていないものですから、現段階で市のほうでは把握をしていない状況でございます。

**竹原恵美委員**

出たら、ぜひ委員にも出してください。さすがに民間も考えているのに、期間を超えたものをどうするってなかなか動かない、動きにくいことだろうと思います。情報が出たら委員会のほうにもください。そしたら現状はこれから見には行きますけれども、ひび割れとか、今そのままでは使えない部分は出てきていますか。もう止めてから長いですが。

**山元企画調整課長**

現況についてはちょっと確認ができていないんですけども、水道施設ですとか、こういったところはもう長く使われていませんので、おそらくこのままでは使えないのではないかとこのように考えているところでございます。

**竹原恵美委員**

今、現状で高校が使っている部分があります。弓道場、うんぬん、武道場なり、そういうのはこれから計画していくのにつれて、のいてもらって、高校は自分のところで引き受けてなり、どこか対処するところがあるのかな。だから、今現状で知り得るところで、ここは高校、現状の鶴翔高校が使うからのかなきゃいけない。こっから先は使えるっていうふうなもの考え方はしてあるんですか。だから、民間が例えば大きいふうにごとで、ここなりどこかで計画がある。でも、高校生が使っている。最初から土台がないですよ、どの面積使っているのか、どの建物を取りのかなきゃいけないのか、使っているのかが今はっきりしないところですが、そこはわかっているんですか。

**山元企画調整課長**

ここににつきましては、財産を所管するのは県の教育委員会が所管する財産になりますので、その中でグラウンド、体育館、武道館、こういったところを使われて現在鶴翔高校の生徒さん方が使われていらっしゃる状況があるというふうに思っているところです。ここを今後その活用するにあたって、その現在使われている方の分の取り扱いをどうするのかということにつきましては、今のところ市としてはまだ活用策が具体的には出てませんので、そこについて検討しているというようなことは今のところ行ってはいないところでございます。

**竹原恵美委員**

今まで、議会に入ってみて、例えば配管のために数千万いるんだとか、解体のために億っていう言い方がある。そんなときそんなときは数が聞こえたんですが、はっきりとしたデータとして解体にはいくらかかるんだ、配管には何千万かかるんだ、今までの中でおおよそ予測された、推測された数というのは出ますか。

**山元企画調整課長**

ここについては具体的な積算を行っては、市として積算を行っているということは行って

いないところです。

#### 竹原恵美委員

すいません、一般質問なんかで、やり取りの中、私ではないところの委員が配管に4千万だったか、3千万だったかというふうに、その上で土台でやり取りはしてきたんですが、数ははっきりしたものは解体にしても、配管にしても幾らかかるは、正しい数はあがっていない。

#### 山田勝委員長

竹原委員、ちょっと話の途中ですけどね、あくまでも阿久根高校は現実に阿久根市には管理する権限もなければですね、想像でしか想像できないわけですよ。阿久根高校を今後どうするかというのをですねというのは、阿久根市が計画すれば阿久根市に任せますよということで、このままではいかんということですね、阿久根市も議会もやっているわけですよ。また、阿久根高校の権限というのは全く県にあります。それと、阿久根高校を野球部が使っている、鶴翔高校が使っている、これはあくまでも、今、遊んでいるから使っているわけであってですね、それをどうするか、こうするかというのは話す必要も全くないことです。と私は思います。

休憩に切り替えます。

(休憩 14:08～14:09)

#### 山田勝委員長

委員会に移行いたします。

#### 白石純一委員

3校舎については、I S値、建物耐震診断を県がされているということですがけれども、体育館、武道場についても県にしてもらおうということは可能でしょうか。

#### 山元企画調整課長

ここについては、現在なされているかどうかについては改めてまた確認をしてみたいと思います。

#### 白石純一委員

もし、あればそちらの資料も県からいただいちゃってですね、もしなければ、体育館、武道場についても耐震診断を県にお願いしていただけないかなと思う次第でございます。要望です。

#### 山田勝委員長

この次の委員会までには、聞いておいてください。

ほかにはないですか。

#### 仮屋園一徳委員

今の関連ですけど、体育館の場合、昭和41年築なんでしょ。ということは耐震と言えれば耐用年数とは全く別問題だという話からすると、もうあんまり長くはないという考え方ができるんじゃないですかね。

#### 山田勝委員長

暫時休憩に切り替えます。

(休憩 14:12～14:12)

#### 山田勝委員長

委員会に移行いたします。

ほかにはないですか。

[「ないです」と呼ぶ者あり]

ほかになければ企画調整課への質疑を一時中止いたします。

ありがとうございました。

それでは、本日の企画調整課から旧阿久根高校跡地の活用について現状について説明を受け、今後の委員会の取り組み方も含め、委員の皆様方からのご意見をお伺いいたします。

休憩に切り替えます。

(休憩 14:14～14:27)

#### 山田勝委員長

それでは、休憩に引き続き委員会に移行いたします。

#### 白石純一委員

先日的一般質問で私がこのことについて質問させていただきましたので、そのことを基に私が考えていることをちょっと述べさせていただきたいと思っておりますけれども、建物3棟がある程度のIS値をクリアしているということで、取り壊さなくても使うことは可能だということをお答えいただきました。

また、この場所、立地も考えなければいけないと思うんですけども、立地的にこの場所に近いのが鶴翔高校であり、総合グラウンド、市の体育館であるということを考えて、そういうこともこの土地の優位性であるわけです。そして、また私が一般質問で質問いたしました、グランビューとの兼ね合いもあり、観光、宿泊所が足りなくなるということも国体を見据えてですね、考えなければならぬということがございます。

したがって私が提案したいのは、まず大規模な宿泊需要が生まれる国体までにそれほど立派なものでもなくてもいいと思うので、そういう選手、スタッフを収容できる合宿所形式のものをいち早くつくって、そうすればグランビューでの宿泊需要がなくてもいいということになりますので、そうすれば現在市が公募されておりますグランビューの譲渡先の問題もややハードルが下がってくるのではないかと思います。そうしたことを考えると私はこの場所で、宿泊、スポーツ、音楽等のグループ向け宿泊研修所施設にし、またその練習所である総合グラウンドとの近隣性というのも活かし、また阿久根、鶴翔高校の生徒たちにも実習の場としてこういった宿泊、研修施設を運営できるような社会勉強にも資するかと思います。そして、彼らの練習相手としてもですね、こういった場所に、施設に来られるチームと合同練習だとか、試合だとかそういったことにも有効だと思いますので、いち早く宿泊、研修所施設への現校舎を利用した転換を提案いたすものであります。

#### 山田勝委員長

はい、ほかに。

[「もうその段階なんですか」と発言する者あり。]

今の白石委員の話はわかりましたが、休憩の時に話ししましたように、とりあえずはですね、白石委員は提案していただきました。だから議員の提案も民間の方々の提案もですね、そういう提案者をですね、この次には提案者をお越しいただいて、その提案者からお尋ねをするという、提案者との、提案者を参考人の話を聞くということにこの次の会はしたらと思うんですが、どうですか。

#### 竹原恵美委員

この委員会って、最終はどのくらいで意見をまとめていく、期間的にはどんなふうに考えたらいいんですか。

#### 山田勝委員長

これは、私が決めるわけじゃないんですが、常識的には年の3月までにはしないと、そんなに長くはできませんよね。

#### 濱崎國治委員

その検討会議との関係もありますからね、それとの、その審議内容によってちょっと変わ

ってくるんじゃないかと思います。

#### 山田勝委員長

ここでは決められない話ですからね、審議をする中で結論が出てくると思います。

それでは、先ほど申し上げましたとおり、私がお二方の提案では私がよく存じておりますが、ほかの皆さん方も、この人とこの人というのがあったらですね、提案をいただきたいと思います。ただ、次の会をですね、そんなに長く押しやれませんので、少なくとも7月、8月の初めの間までにはあと1回はしたいと思っていますので、そのつもりで提案をされる方を提案してください。日程については委員長にお任せいただければとありがたいんですけど、よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者複数あり]

それと、本日は阿久根高校の跡地をですね、現地調査したいと思いますが、よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者複数あり]

ということで、旧阿久根高校への現地調査については県教育委員会学校施設課企画助成係を通じ、対応が可能なことは確認しております。この後現地調査とし、阿久根高校跡地を現地調査することに御異議ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者複数あり]

異議なしと認めます。それでは、この後現地調査を行いますので、14時45分に正面玄関にお集まりください。

(現地調査 14:45～15:49)

#### 山田勝委員長

現地調査前に引き続き再び委員会を開きます。

ただいま現地調査が終わりましたけれども、委員の皆さんからのご意見を伺いたと思います。

#### 渡辺久治委員

初歩的な質問で申し訳ないんですけども、この活用検討会議のメンバーというのほどなたなんですかね。阿久根高校跡地活用検討会議。

#### 山田勝委員長

休憩に切り替えます。

(休憩 15:49～15:51)

#### 山田勝委員長

それでは、休憩前に引き続き委員会に入ります。

今回の開催内容については、先ほどお話をしましたけれども、それを含めて、皆さん方のご意見をいただきたいと思います。今回、現地調査をしたわけですけども、現地調査も含めてですね、今後の検討課題ということで、今回、きょうについてはこれくらいで終わってですね、この次に現地調査も含めた検討課題も含めてこの次の、次回に、皆さん方に伺いたいと思うんですがいかがですか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

それでは、ほかに意見がないようでしたら、以上で本日の旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査特別委員会を散会いたします。

ありがとうございました。

(閉 会 15時51分)

旧阿久根高校跡地活用検討に関する  
調査特別委員会委員長